



図1 虚血性心疾患死亡率レーダーチャート  
※全国数値を 100 とした調整比較

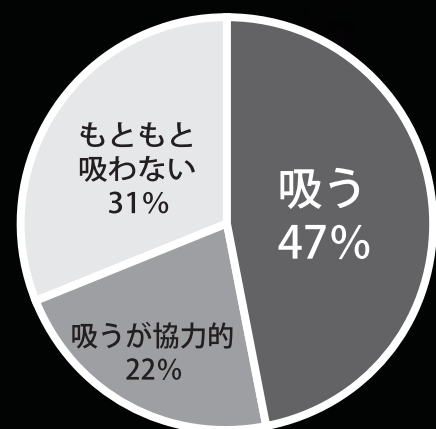
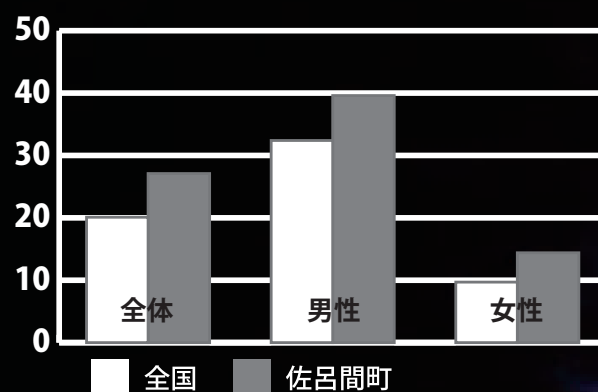


図3 家族の喫煙状況  
(H25 妊娠時アンケート)

図2 喫煙状況全国との比較  
(全国・佐呂間町健康栄養基礎調査 H23)



## 喫煙の害を防ぐために ～互いへの理解を～

さろまげんき王国  
保健福祉課保健推進係 Tel 2・1212

### 喫煙が身体に与える害

喫煙していない方と比較すると、喫煙する方ががん発生率（全部位平均）は2倍以上と言われています。タバコにはタールなどの発がん性物質が含まれているため、喫煙により物質が体の細胞に取り込まれると、がんを起すリスクが高まります。

佐呂間町に多い疾患として虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）があります。これはタバコに含まれるニコチンなどが、血管を傷つけ動脈硬化を進めることも要因の1つとなります。佐呂間町の虚血性心疾患の死亡率は、全国平均を100として北海道、近隣市町村と比べて男女ともに高くなっています。

喫煙は、本人だけの問題ではありません。タバコを吸って排出される副流煙には有害物質が高い濃度で含まれ、周囲の人が吸って喫煙していない人でも、受動喫煙によりがんの発生率が増加する可能性が報告されています。

また、虚血性心疾患のリスクは、不定期な受動喫煙でも上昇すると言われています。喫煙しない人が受動喫煙により与えられる害は佐呂間町でも課題となっています。

※受動喫煙

周囲の人が喫煙することによって、喫煙しない人がタバコの煙を吸われること。

### 佐呂間町の喫煙の特徴

佐呂間町の喫煙率は、佐呂間町健康栄養基礎調査（平成23年）では、男性39・6%（全国平均32・2%）、女性14・4%（全国8・4%）と男女ともに高い状況です。（図2）さらに、平成25年度に妊婦に行ったアンケートによる

と、「家族が喫煙している」と回答した方は67%と、家族の中に妊婦がいても変わらず自宅で喫煙を続けている家庭が多いことがわかりました。（図3）

平成14年に制定された健康増進法では、公的施設や多数の者が利用する施設の管理者に受動喫煙防止の措置をとるよう努力義務として示されていますが、佐呂間町の受動喫煙対策は一部の職場や施設を除き進んでいないのが現状です。

### 受動喫煙防止の難しさ

喫煙しない人が喫煙する人と部屋や車内などの閉ざされた空間にいない場合、つまり、屋外などの場合でも、喫煙者が周囲にいた場合、受動喫煙による影響を無くすためには、50mプール2杯分の空気の循環が必要と言われています。家で部屋を分ける、換気扇の下で吸う、空気清浄機を利用するなどでは有害物質を完全に除去することはできず、普段の生活において完全に分煙を行うことは難しいと言えます。

### お互いへの理解

喫煙する人、しない人がお互いの立場を理解することは難しいことです。「喫煙を続けたい」「気持ちと「禁煙をしてほしい」という願いは相反するもので、お互いに禁煙や受動喫煙の話題を出すことが体ためらいがちなです。

受動喫煙による健康被害を防ぐためにも職場や家庭でお互いの立場に立ち、実施可能なことを協力して進めていく必要があるのではないのでしょうか。